

ふたみきた

令和元年（2019）年11月1日

11月号

明石市立二見北小学校
学校だより 第449号



今を生きる大人の責任

校長 赤松 弘一



台風19号は非常に強い勢力のまま日本に上陸し、東日本に大きな被害をもたらしました。冬に向かって寒くなる中で、着るものや家を失い、避難生活をしている方が今もたくさんおられます。昨年は西日本豪雨で九州を中心に大きな被害があったばかりです。建てられて百年は経つと思われるような古く大きな家が、がけ崩れや洪水で押し流されるのを見ると、これまで起きていなかった規模の災害が起こっているのだということを実感します。

国連で環境保護を訴えたスウェーデンの16歳の高校生グレタ・トゥンベリさんは、地球温暖化防止に前向きに取り組まない世界の首脳に対して「わたしたちは大絶滅の始まりにいます。それなのに、あなたがたが話すのは、お金や永続的な経済成長というおとぎ話だけ！よくもそんなことを」と怒りをぶつけました。未来の社会を生きる若者や子どもにどんな世界を残していくのか。大人は今の自分たちの豊かな暮らしのために未来の地球にたくさんの借金をしているのではないのでしょうか。その借金を返すのは今の子どもたちです。これからの世界は自然災害が増え、気候変動は農業をはじめ人類の活動に多大な影響をもたらすでしょう。貧しい国や人々ほど真っ先にその被害を受けることになります。大人はそんな未来には目をつぶり、子どもにきちんと伝えたり、一緒に考えたりしてこなかったのかもしれない。「それはいいから、少しでも勉強して成績を上げなさい」と。



テレビに映る被災地の映像は、明日の自分の街の姿かもしれない。今まで以上にそのような思いが実感として迫ってきました。でも1週間も経つとどうでしょう、もうそんなことを忘れて同じ生活を当然のように繰り返しています。遠くの街を襲った台風と同じで、グレタさんの演説を「自分とは無関係だ」と考えていないのでしょうか。大きな地球はこれまで、人類の飽くなき要求に応じてくれましたが、それはもう続かないことが分かっているのです。

仮に地球の直径を1mとすると人が暮らせる大気層の層はわずか1mmもありません。海の深さは平均0.4mm不足です。その中で世界の人々が奪い合い、争うことなく、譲り合って助け合って生きていけないのでしょうか。しかしこのように言う私は何も行動できていないのです。これまで人間と環境について中学校で理科の授業をしてきましたが、未来への負の遺産が少しでも減るように、今一度、自分にできることを考えてみたいと思います。

今日の予定

日	曜	
1	金	音楽会準備
2	土	音楽会
3	日	文化の日 二見町合同文化祭
4	月	振替休日
5	火	音楽会代休
6	水	朝会 Fタイム (サークル)
7	木	就学時健康診断
8	金	3年市内連合音楽会
12	火	1年きらきらの会 代表委員会 新体力テスト (~14日)
14	木	6年きらきらの会
15	金	子ども安全の日
16	土	北っ子フェスタ
18	月	制服採寸 (15:30~17:00)
19	火	3年きらきらの会
20	水	5年・幼稚園芋掘り Fタイム (クラブ)
21	木	5年・わかばきらきらの会
22	金	二見中校区特別支援学級高学年交流会
23	土	勤労感謝の日
25	月	教育相談日 スクールカウンセラー来校
27	水	北っ子スペシャルメニュー (給食) 2~6年6校時 (28日分)
28	木	4年きらきらの会
12月の主な行事予定		
3日:1年きらきらの会 4日:朝会 Fタイム (サークル) 5日:6年きらきらの会 10日:代表委員会		
11日:Fタイム (クラブ) 12日:2年・わかばきらきらの会 18・19日:個人懇談会		
19日:学校保健委員会 20日:給食最終日 学期末大掃除 24日:終業式 25日~冬季休業日		

10月14日 子ども会陸上競技大会

本校からは、42名の北っ子が出場しました。早朝からの練習を積み重ね、大会本番では一人ひとりが最後まで自分の競技をしっかりとやり遂げました。そして、3種目において優勝という成績を修めることができました。

- 1位 6年男子 4×100mリレー
- 1位 5年男子 走高跳
- 1位 5年女子 走幅跳
- 3位 6年女子 走幅跳
- 3位 5年男子 80mハードル



9月27日 1年生 校外学習

須磨水族園へ



あのね、すますいぞくえんへいったよ。でんきうなぎのじっけんのとき、でんきうなぎのだすでんきにびっくりしたよ。じっけんをしたこまつせんせいは、とびあがっていたよ。およぐのも、とてもすばやかだったよ。

(1くみ)

あのね、すますいぞくえんに校がい学しゅうにいったよ。わたしがすきなのはイルカショーです。どうしてかという、トレーナーさんが手をあげたときジャンプしたり、まわったりするからです。

(2くみ)

あのね、校がい学しゅうですますいぞくえんにいったよ。こくごのじかに学しゅうしたとおりに、「もくずしょい」がほんとうにかいそうをつけてかくれていたのびっくりしました。またみてみたいです。

(3くみ)

あのね、水ぞくえんにいきました。そこに見たことないサメがいました。かくれんぼじょうずがかくれていました。わたしはたこしか見つけられなかったです。たのしかったです。またいきたいです。わすれられません。

(4くみ)

9月30日~10月4日 5年生 自然学校

「楽しかった自然学校」

南但馬自然学校へ



2日目に11班と12班で、隠れ家づくりをしました。プランコと家を作るようになったので、私は主に家を担当しました。木と木をロープでくくりつけたり、ブルーシートをはったりして大変だったけど、班のみんなと協力していい隠れ家が作れて良かったです。3日目に、野外炊飯をしました。ご飯と肉じゃがを作ることになって、私は友達と一緒に材料を切る係で、スムーズにできて良かったです。そして、自分たちの肉じゃがとご飯はとてもおいしかったです。4日目の朝に、朝来山登山をしました。第1チェックポイントまでは体力があっただけど、第2チェックポイントに行くまではとても辛かったです。でも、山頂に着いたとき、景色がとてもきれいで、ここまで登ってきて良かったと思いました。私が「自立」「共生」「創造」「挑戦」「成長」の5つの目標の中で、特にできたのは「共生」です。野外炊飯や隠れ家づくり、オリエンテーリングなど、様々な活動で協力することができました。自然学校で学んだことは、学校生活でも生かしていきたいです。

(1組)

「隠れ家づくりと野外炊飯」

私が心に残っている1つ目は、隠れ家づくりです。最初にプランコを作りました。それで3つ重ねたところの支えの間にたくさん木を置いてテーブルにしました。そして少し下のところに木を置いて、座る場所を作りました。その後すべり台を作りました。前向きにはすべれなかったけど、横向きに座ったら少しすべれました。その次にシーソーを作りました。私だけでは作れなかったけど、協力したからうまくいったと思います。2つ目は野外炊飯です。野外炊飯で、私はご飯係だったので米をとぎました。その次に水を入れました。それでリーダーさんに見てもらいました。水が多かったので減らしてオッケーをもらいました。その後材料を切るのを頼まれたので手伝いました。上手に切れました。机の上に新聞紙をしいて、炊けたご飯を食べるとすごくおいしかったです。野外炊飯も協力したからうまくいったと思います。

(2組)

10月11日~10月12日 6年生 修学旅行

広島へ

平和学習の目標は、「原爆・戦争の恐ろしさを想像し、学ぼう」だったけど、学んだことの全てを想像すると、恐ろしくてたまりません。日本がこんなことになったとは思えませんでした。伝承講話の平野さんの「戦争に自由はない。」という言葉が心に残りました。自分の好きな事・やりたい事ができないのは、とても苦しい日々だったと思います。碑巡りや資料館では、一つ一つに大切な思いがたくさんつまっていることが分かりました。例えば、平和の鐘は、核兵器のない世の中になるように祈るために作られたことが分かりました。2日目は、広島駅でお土産を買いました。班行動をするために、みんなが買いたいものをちゃんと聞いて、楽しく買い物できました。目標の「思いやり・協力・深める絆」も達成できたと思います。

(1組)

修学旅行で原爆ドームを実際に見た。そこで、原爆の恐ろしさを改めて感じた。平和であることが、どれだけありがたく感謝しないといけないことなのか…。今の平和な暮らしは原爆ドームや当時の人々が原爆の怖さを世界の人々に訴えかけてくれているからだと思ふ。だからこそ、原爆ドームを保存し、守っていかなくてはいけない。ただ、原爆ドームを取り壊してほしい人もいると思う。それは、原爆がもたらしたむごたらしい有り様を思い出してしまうからだ。しかし、原爆のことを世界の人々に伝えるため、この建物だけは保存すべきだと思う。このような過ちでたくさんの人の命を奪ってはいけない。戦争をしてはいけない。私は今の平和がずっと続いてほしい。二度と戦争を起こさないため、平和について考えるため、原爆ドームはこれからも保存すべきだと思う。

(2組)

「ノーモアヒロシマ」、平和活動において大切な言葉。「戦争はもうしない」「平和を大切に」という人々の気持ちが込められた言葉である。広島に行って、ぼくはより強く感じた。「平和フォーラム」を行う上で、「戦争の恐ろしさ」は忘れてはいけない。「被爆体験伝承講話」、平野さんの話はすごくわかりやすかった。なぜ、広島に落とされたのかということも教えていただいた。原爆が落とされた時の風景が頭に浮かんだ。平野さんは、被爆された方にその時の様子を教えてもらい、語り継いでいる。「碑巡り」では、たくさんの建造物、被爆した建物、碑、像を見た。原爆ドームの被害は本当に残こだった。大きなレンガの建物が一瞬であんなことになるなんて……原爆は恐ろしい。「資料館」では、原爆によって傷ついた実物、被爆した方々の写真。見て回っている途中、胸が苦しくなってしんどくなった。もし自分の身に起きたことだったらと想像したら、もうたまらない。しかし、本当に起こったことなのだ。修学旅行で一番学べた場所だった。苦しかったと思う、悲しかったと思う。戦争とは、原爆とは、こんなにもひどいものか。「平和を守っていかないと」と、強く思った。この学びの場で、学校での平和フォーラムで、そして世界中の人たちに知らせたい、ぼくが学んできたことを。「ノーモアヒロシマ」(3組)

10月16日 わかば 運動会

明石市内の小・中学校特別支援学級の児童・生徒が集まり、合同運動会が開かれました。他校の友達と一緒に50メートル走や玉入れ・大玉送り等の競技に参加したり、頑張っている友達を応援したりし、みんな精一杯力を出し切りました。

